



風は海から

令和4年5月31日
令和4年度
横浜市立西富岡小学校
学校だより6月号

50年を迎えて

横浜市立西富岡小学校
校長 黒田 由希子

木々の若葉が青々と輝く季節になりました。新学期が始まってから2か月が経ち、1年生も学校生活に慣れ、校舎内や校庭などいろいろな場所に目を向け、好奇心いっぱいを探検し、新たな発見に喜ぶ姿が見られます。

今までできなかった行事も少しずつできるようになり、1年生は富岡西公園、3年生は海の公園に遠足に行きました。そして、5年生は足柄ふれあいの村に1泊2日の宿泊体験学習に行ってきました。子どもたちは、ハイキングやキャンプファイヤーなど、自然に親しみ、大いに盛り上がりました。2日目は雨となり、林業体験はできませんでしたが、インストラクターの方から森林について教えていただくなど、有意義な活動ができました。引き続き、コロナの感染状況や感染症対策に気を付けながら、行事を進め、子どもたちの豊かな体験、学びへとつなげていきたいと考えています。



6月29日は創立記念日です。昭和48年に開校したので、今年でちょうど50歳になります。創立50周年になるという話をいろいろなところであると、「私は卒業生です。」と言っていた保護者の方もおり、この西富岡小学校が、卒業生や地域の方々に愛されて50年を迎えるのだとしみじみ感じます。

今年度初任者指導教員として着任した山口慶教諭が、本校で教員をしていたことがあるということで、その当時の写真を見せてくれました。上の写真は、子どもたちがマラソンをしている様子だそうです。当時は、体力づくりのため、全校マラソン大会があり、校庭や学校の周囲を全員で走っていたそうです。



下の写真は、アスレチックの写真です。これは校舎の裏側、毎年5年生が稲を植えている田んぼの辺りにあったアスレチックだそうです。きっと懐かしく思い出す方もいらっしゃるのではないのでしょうか。残念ながら老朽化が進んでしまい、今はもうありませんが、当時の子どもたちがのびのびと遊んでいる様子、うらやましい限りです。

50年という年月が経ち、西富岡のまちや学校は変わってきていても、変わらないものがあります。それは、西富岡小で学ぶ子どもたちのきらきらした瞳、笑顔、元気な声、そして見守ってくださる保護者や地域の方の温かなまなざしです。校歌の歌詞に「大きな海へ ふくらんだ 希望がひろがる 丘の上」とあります。どの時代の子どもたちも、どこの世界の子どもたちも、心に大きな希望をもっています。西富岡小学校で学んだ子どもたちには、小学校で培った力を生かし、世界中が希望あふれる未来を創ってほしいと思います。そして卒業し、またいつかこの西富岡小学校を訪れた時、今と同じように、子どもたちがいきいきと学び、遊ぶ姿が見られる、そんな学校をこれからも創ってほしいと思います。